

開催
案内

リカバリー

2017

全国フォーラム



リカバリー全国フォーラムとコンボの10年

「支援サービスの《見える化》とリカバリー」の先に私たちがめざすもの

2017 **8.25** FRI - **26** SAT
帝京平成大学 池袋キャンパス 本館

主催 認定特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構 (コンボ)

FOLLOW US ON TWITTER
@recoveryforum

LIKE US ON FACEBOOK!
facebook.com/recoveryforum



COMHBO 認定特定非営利活動法人
地域精神保健福祉機構
COmmunity Mental Health & welfare Bonding Organization

〒272-0031 千葉県市川市平田 3-5-1 トノックスビル 2F
Tel.047-320-3870 / Fax.047-320-3871 <https://comhbo.net>



リカバリー 2017 全国フォーラム

リカバリー全国フォーラムとコンボの10年

「支援サービスの《見える化》とリカバリー」の先に私たちがめざすもの

リカバリー全国フォーラムは今年第9回を迎え、毎年2日間にわたり1500人近い参加者により開催されてきました。回を重ねる中で、当事者・家族・精神保健福祉&医療関係者・市民など職種・所属を超えた仲間が全国から集い、活発な議論を行う場として定着しています。

それとともに、主催団体である認定NPO法人コンボは今年創立10周年を迎えました。2007年1月に発足したコンボは、まさにリカバリーフォーラムと共に発展してきたと言っても過言ではありません。

フォーラムではこれまで、「リカバリー志向サービスへの転換」、「支援サービスの《見える化》と私たちのリカバリー」を大会テーマに、フォーラム全体で議論すると共に、分科会の活動を進めてきました。コンボ10周年の今年は、これまでの取り組みを振り返ると共に、これから先10年、20年に向けて、私たちがめざすべきものは何か、これから何をすべきなのか等について、改めて大いに語り合う場にできればと思っています。

皆さま方が、全国から積極的にご参画いただくことを心よりお待ちしております。

日時 2017 **8.25 FRI - 26 SAT**

主催 認定特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構 (コンボ)

会場 帝京平成大学 池袋キャンパス 本館
▶ JR池袋駅東口から徒歩12分

定員 1200名

FOLLOW US ON TWITTER
@recoveryforum

LIKE US ON FACEBOOK!
facebook.com/recoveryforum

後援団体

*昨年度の後援団体に申請中、順不同・法人種別略

- 内閣府政策統括官(共生社会政策担当) ● 東京都 ● 高齢・障害・求職者雇用支援機構 ● 日本障害者協議会 ● 全国精神保健福祉会連合会
- 全国精神障害者団体連合会 ● 全国社会福祉協議会 ● 全国精神保健福祉連絡協議会 ● 全国精神保健福祉相談員会
- 日本ソーシャルワーカー協会 ● 日本精神科看護協会 ● 日本作業療法士協会 ● 日本看護協会 ● 日本精神保健福祉士協会
- 全国保健所長会 ● 全国精神保健福祉センター長会 ● 全国自治体病院協議会精神科特別部会 ● 日本精神科病院協会
- 日本精神神経科診療所協会 ● 全国精神障害者地域生活支援協議会 ● きょうされん ● 全国精神障害者就労支援事業所連合会
- 日本精神保健福祉連盟 ● 日本障害者リハビリテーション協会 ● 日本精神神経学会 ● 日総合病院精神医学会 ● 日本精神保健看護学会
- 心理教育・家族教室ネットワーク ● SST普及協会 ● 日本社会福祉学会 ● 東京都社会福祉協議会 ● 精神科作業療法協会
- 日本うつ病センター ● 日本学校保健会 ● 全国養護教諭連絡協議会 ● NHK厚生文化事業団 ● 東京都精神障害者団体連合会

企画委員長

高橋清久(認定NPO法人地域精神保健福祉機構 アドバイザー)

企画委員

*敬称略・順不同

- 相澤和美(地域精神看護ケアねっと/国際医療福祉大学大学院) ● 有村律子(埼玉県精神障害者団体連合会・ポプリ) ● 安西信雄(帝京平成大学)
- 伊藤順一郎(メンタルヘルス診療所しほふぁーれ/認定NPO法人地域精神保健福祉機構)
- 宇田川健(認定NPO法人地域精神保健福祉機構) ● 大島巖(日本社会事業大学/認定NPO法人地域精神保健福祉機構)*企画委員会総括幹事
- 加藤大慈(戸塚西口りんどうクリニック) ● 川口敬之(NPO法人精神科作業療法協会/北里大学) ● 香田真希子(目白大学)
- 島本禎子(杉並家族会/NPO法人あおば福祉会) ● 竹内政治(さいたま市精神障害者当事者会ウィーズ/日本ピアスタッフ協会)
- 田中直樹(NPO法人あおば福祉会/NPO法人全国精神障害者地域生活支援協議会) ● 仲野栄(一般社団法人日本精神科看護協会)
- 福井里江(東京学芸大学) ● 藤野英明(横須賀市議会議員) ● 増川信浩(WRAPファシリテーター)
- 四方田清(公益社団法人日本精神保健福祉士協会/順天堂大学)

9:30	受付開始
10:00 - 10:15	主催者挨拶
10:15 - 12:15	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="background-color: #808080; color: white; padding: 2px 5px;">記念講演</div> <div style="text-align: center;"> <p>「支援サービスの 「見える化」とリカバリー」の先に 私たちがめざすもの (仮)</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p style="font-size: 8px; background-color: #808080; color: white; padding: 2px;">認定NPO法人コンボ</p>  <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: 8px;"> <div style="text-align: center;">伊藤順一郎 (共同代表)</div> <div style="text-align: center;">宇田川健 (共同代表)</div> <div style="text-align: center;">大島巖 (代表理事)</div> </div> </div> </div>
12:15 - 13:30	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="background-color: #808080; color: white; padding: 2px 5px;">昼休み</div> <div> <p>* 13:20 - 13:30 ご案内タイム</p> </div> </div>
13:30 - 14:50	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="background-color: #808080; color: white; padding: 2px 5px;">トークライブ</div> <div style="text-align: center;"> <p>私とコンボ、これまでの10年、これからの10年を語ろう</p> <p style="font-size: 8px; background-color: #808080; color: white; padding: 2px;">司会 宇田川健 (認定 NPO 法人コンボ)</p> </div> </div>
15:10 - 17:40	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="background-color: #808080; color: white; padding: 2px 5px;">分科会</div> <div> <p>* 詳細は次ページをご覧ください</p> </div> </div>
18:00 - 20:00	懇親会

9:00	受付開始
9:30 - 11:45	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="background-color: #808080; color: white; padding: 2px 5px;">シンポジウム</div> <div style="text-align: center;"> <p>これからの10年に私たちがめざすもの： 「見える化」の実質化と確かなネットワークの形成 (仮)</p> <p style="font-size: 8px; background-color: #808080; color: white; padding: 2px;">座長 大島巖 (認定 NPO 法人コンボ)</p> </div> </div>
11:45 - 13:00	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="background-color: #808080; color: white; padding: 2px 5px;">昼休み</div> </div>
13:00 - 15:30	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="background-color: #808080; color: white; padding: 2px 5px;">分科会</div> <div> <p>* 詳細は次ページをご覧ください</p> </div> </div>
15:50 - 16:40	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="background-color: #808080; color: white; padding: 2px 5px;">クロージング</div> <div style="text-align: center;"> <p style="font-size: 8px;">認定NPO法人コンボ</p> <p style="font-size: 8px; background-color: #808080; color: white; padding: 2px;">司会 宇田川健 (共同代表) & 大島巖 (代表理事) & 高橋清久 (アドバイザー)</p> </div> </div>

1	<h3>リカバリー宣言2017 ～イタリアからの声を聴いて:ポローニャの友だち part2～</h3> <p>ポローニャの仲間が今年も来日!!!「イタリアは、精神科病院がなくて聞くけれども、実際はみんなどんな生活をしているの?」今年、たくさんの人たちを支える精神科医や、地域生活をサポートしている方をお招きし、「暮らし」について、「社会生活」について、「生の体験談」を交し合いたいと思います。「みんな違ってみんないい!!!」今回も、「東京ソテリア:イタリアからの声プロジェクト」とのコラボ企画です。</p> <p>イヴォン・ドネガニ(精神科医/ポローニャ精神保健局元局長)、フォアン・クラウス(エータベータ社会的共同組合)、そのきのこ(NPO法人東京ソテリア)、増川ねてる(WRAPファミリーテーター)</p>	シンポジウム & ワールドカフェ
2	<h3>どのようにしたら、ピアスタッフになれるのか?</h3> <p>ピアスタッフ協会へ、「どのようにしたらピアスタッフになれるのか」という問い合わせが、最近とても多いです。しかし、我々ピアスタッフ協会でも、この質問に的確にお答えできる人は、いません。今回、この問いについて、みんなで考えたいと思います。</p> <p>古関俊彦(NPO法人颯埜扉)、竹内政治(さいたま市精神障害者当事者会ウイズ)、相川章子(聖学院大学)、瀧沢賢広(NPO法人さざなみ会)、福島淳子(群馬病院やまも)、関口暁雄(埼玉県済生会自立訓練事業所夢の実ハウス)</p>	シンポジウム & ワークショップ
3	<h3>アンチスティグマとリカバリー ～相模原事件を考える～</h3> <p>「命の優劣は誰も決められない「相模原事件を考える」自分の言葉で話をしよう。」というテーマで、精神科医師、マスコミ、精神障害者の家族、精神障害を持つ当事者と、立場が違う人たちに自分の言葉で発表していただきます。後半は会場との意見交換をします。</p> <p>松本俊彦(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)、野辺さやか(NHK制作局)、島本禎子(杉並家族会)、宇田川健(認定NPO法人コンボ)、高橋清久(認定NPO法人コンボアドバイザー)</p>	シンポジウム
4	<h3>精神医療の「見える化」2017</h3> <p>2015年11月から開始したコンボの「見える化」計画をもう一步進めるために、医療提供側・医療利用側・支払い側・メディアからの意見を集約し、次の一歩を踏み出したいと思えます。参加者の皆様にもご意見を伺いたいですので、ぜひ、参加して下さい。</p> <p>秋山剛(NTT東日本関東病院)、加藤伸輔(ピアサポートグループ在)、佐藤光展(読売新聞東京本社)、依田晶男(全国土木建築国民健康保険組合)、高田豊彰(認定NPO法人コンボ)</p>	シンポジウム
5	<h3>家族だからできる家族支援プログラム「家族による家族学習会」とは</h3> <p>コンボ家族学習会企画委員会が開発された「家族による家族学習会」は、2016年度からみんなねっとに事務局を移し、活動を続けています。このプログラムをより多くの家族や支援者に知っていただくこと、本来の目的である発症間もない家族の方々に届けることを、めざしています。この分科会では、家族ピア活動の原点である家族学習会を紹介し、今後の課題に向けた活動を報告します。</p> <p>全国精神保健福祉会連合会みんなねっと家族学習会企画プロジェクト委員会:岡田久実子、飯塚壽美、佐藤美樹子、天川智子</p>	ワークショップ
6	<h3>発達障害者と就労</h3> <p>発達障害者の就労のポイントを、会場とディスカッションします。今回は、発達障害の方・支援者・就職先企業の方のトリオ3組にご登壇いただき、体験談をご紹介します。継続雇用のヒントを、皆さんと探っていきたいと思えます。</p> <p>鈴木要介・池田義一(株式会社ライジングサンセキュリティーサービス)&柴田泰臣(NPO法人NECSTフラッグ)、浦野由佳(JSN東京)、金塚たかし(NPO法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク)</p>	シンポジウム
7	<h3>精神医療サービスの「見える化」を未来から語るプロジェクト</h3> <p>リカバリー志向の精神医療の実現には、ユーザーにわかりやすいサービスの「見える化」が必要ですが、いまだ程遠い状態です。この分科会では、この「見える化」を実現するために、ユーザーや医療従事者の垣根を越えてお互いの声に耳を傾け、ディスカッションします。そして、精神医療サービスの「見える化」の未来像を描きながら、これから出来る具体的な手立てを共に考え、取り組みの知恵を共有したいと思います。</p> <p>佐々木理恵(WING-NETWORKすべい)、澤田高綱(てと)、相澤和美(地域精神看護ケアねっと/国際医療福祉大学大学院)、川口敬之(NPO法人精神科作業療法協会/北里大学)、大橋秀行(埼玉県立大学)、他</p>	シンポジウム & ワークショップ
8	<h3>リカバリーを促進する治療ガイドラインの活用</h3> <p>うつ病や統合失調症などにはエビデンスに基づく治療ガイドラインがあります。ガイドラインには、治療計画の策定、行うべき検査、薬の使い方など、推奨されるべき治療方法が記載されていますが、治療現場での拘束力は持ちません。また当事者や家族にも馴染みがありません。この分科会では、当事者・家族向けのガイドラインの必要性、治療にどう生かすべきか、そして、リカバリーにどう役立てるかを、皆さんと一っしょに考えます。</p> <p>堀合研二郎(横浜ピアスタッフ協会)、渡邊衛一郎・坪井貴嗣(杏林大学)、杉山暢宏(信州大学)、加藤玲(精神障害者家族会新宿フレンズ)</p>	シンポジウム
9	<h3>未来語りのダイアローグ ～「私たちが望む精神保健システムが実現した未来」をともに構築しよう～</h3> <p>「未来語りのダイアローグ」(Anticipation Dialogue; 以下 AD)とは、異なる立場の関係者の間に葛藤が生じて行き詰まった状況を解決に導く、フィンランド生まれの手法です。ADでは、対話をしながらよりよい未来を思い浮かべ、そのための行動プランを作っていきます。この分科会では、「私たちが望む精神保健システムが実現した未来」を構築するためのADをおこないます。対話を通じて希望やつながりが生まれていく感覚を共有してみませんか。</p> <p>伊藤順一郎(しほふあーれ)、福井里江(東京学芸大学)、森川すいめい(みどりの杜クリニック)、三ツ井直子(KAZO)</p>	ワークショップ
10	<p>公募企画 精神障害者の立場から合理的配慮を考える</p> <p>この分科会は、合理的配慮を正しく理解し、障害者の立場、家族・支援者の立場、企業の立場など、全国の様々な立場の人たちが話し合い、新たな気づきや日常生活をよりよくするヒントを得ることを目的としています。参加者一人ひとりがリラックスしながら、発言の機会を多く持ってもらえるようにします。ぜひご参加ください。</p> <p>菅原正和・黒澤陽・橋本達志・渡辺亜美(北海道精神保健推進協会こりか・プロダクション)、矢部滋也(一般社団法人北海道ピアサポート協会)</p>	ワークショップ
11	<p>公募企画 女性とうつ</p> <p>うつ病は女性の方が多いってご存知でしたか?様々な要因が言われていますが、実際はどうなのでしょう?自助会では女性が少なく、声が届きにくいと感じます。女性の社会的な立ち位置が変わっていく中で、女性ならではの悩み、生きづらさがあるのでは?この分科会では、医学的な観点だけでなく、社会的、環境的観点など、いろいろな立場から、女性とうつを考えていきたいと思えます。 ※参加者は女性に限りません。</p> <p>ゆま(東京うつ病友の会)、女性の当事者、他</p>	シンポジウム & ワークショップ

WRAP - 元気回復行動プラン

ワーク
ショップ

「私の元気が私を作る」、元気回復行動プラン…(WRAP)。この分科会では、「元気～Wellness～」を中心テーマに、お互いの経験から学びあいます。「自分の元気を回復したい」、「WRAP、興味があるんだけどなかなか機会がこれまでなくて…」、「WRAP 好きだから、今年も行きたい!」、「仲間づくりをしたいんだ。」・・・どんな方も大歓迎!! 進行は全国の WRAP ファシリテーターの皆さん。“学び”と“出会い”の場に、是非、どうぞ!!

全国のWRAPファシリテーターの皆さん

12

当事者の結婚・子育てを支えるための配偶者と子どもの支援

シンボ
ジウム

精神障がい者の結婚・子育ては当たり前前の時代となりつつありますが、その配偶者や子どもの声はなかなか伝わってきません。昨年、配偶者の会、また、成人した子どもの会も立ち上がり、それぞれ連携しつつ、仲間への支援を始めています。この分科会では、配偶者や子ども自身のピアサポートの可能性を探ります。配偶者と子どもの支援を充実させることが、当事者の結婚・子育て、そしてリカバリーにもつながっていくと考えています。

横山恵子(埼玉県立大学)、藤山正子(大阪大学大学院)、前田直(杏林大学・配偶者の会)、明石真由美・岸野みゆき・坂本拓(精神疾患の親を持つ子どもの会)、他

13

就労支援機関との付き合い方

ワーク
ショップ

働く人のミーティング CAT では、主に精神障害がある働く人が集まり、仕事の悩みを話したり、解決方法を話し合ったりしてきました。この分科会では、CAT 実行委員から就職活動や仕事の体験談をお話します。また、就労支援機関との付き合い方について、参加者のみなさんといっしょに、話しあいたいと思います。

働く人のミーティングCAT実行委員、NPO法人NECST:荒木翔(障害者就職サポートセンタービルドII)、加藤龍・大空美穂子(ユースキャリアセンターフラッグ)

14

IMR2017 ～いまから みんなで リカバリー～(Illness Management and Recovery: 疾病管理とリカバリー)

シンボ
ジウム

IMRはリカバリーにとっても有用なプログラムです。IMRでは最初にリカバリーについて話し合い、1人1人の目標をつくり、それを実現するために病気やストレスの対処などについて、みんなで語り合いながら学んでいきます。この分科会ではIMRの説明のほか、IMRを実践している施設から、IMRがリカバリーにどう役立ったか、また率直な感想を、当事者と実践者が話します。

加藤大慈、内山繁樹、中村亮太、藤田英美、吉見明香、渡辺厚彦、横澤直文、永瀬誠、中村正子、佐野瞳、山口雅弘、岸貴雅、齊藤祥子、生活支援センター西の皆さん、鷹岡病院の皆さん

15

ピアサポートの部屋 ～結婚している人の話を聞いてみよう～

シンボジウム
ワークショップ

当事者で、結婚している人たちの体験発表を聞きます。結婚して楽しいこと、苦労していることは、なんでしょうか? そのあとは参加者全員で小グループに分かれ、言いたくない聞きたくないの会を体験します。

酒井洋・香代、有村律子(埼玉精神障害者団体連合会・ポプ)、高木良文(蓮田市精神障害者当事者会そよ風)、秋本謙一・智子、宇田川健(認定NPO法人コンボ)

16

IPS:個別就労支援 ～リカバリーにおける働くことの意味～

シンボ
ジウム

「リカバリーにおいて“働く”ことは重要な位置をしめる」と言われていますが、実際自分にとって「働く」ということがどんな意味を持つのかを、改めて考えてみませんか? 「働く」ことのメリット・デメリットって、どんなことがあるでしょう。新たな自分との出会いがあるかもしれません。

香田真希子(目白大学)、本多俊則(NPO法人コミュニティ楽創)、池田真砂子(特定NPO法人ゆるら)、山本大伸、K・A、石崎秀(IPS利用者)

17

精神科医療の長期入院を斬る!

シンボ
ジウム

長期入院の解消なくしてリカバリーを語ることはできません。ACT(包括型地域生活支援プログラム)だって、リカバリー＝「重い精神障害をもつ人が希望をもち、人生を楽しむことができること!」を応援するのであれば、長期入院の解消の「見える化」にしっかりと取り組まなければならないと思います。この分科会では「長期入院」、「ACT」、「コミュニティケア」を切り口として、皆さんと議論を深めたいと考えています。

高木俊介(たかざクリニック)、志井田美幸(町にらす会KUINA)、梁田英磨・笠原陽子(東北福祉大学せんだんホスピタルS-ACT)、精神科医療長期入院から解放された当事者の方(予定)

18

みんなで授業してみよう! ～学校メンタルヘルス教育をよりよくするために～

シンボジウム
ワークショップ

この分科会では、学校メンタルヘルス教育活動に関連する活動の全国的な広がりや、学習指導要領の改訂などの社会的な動向をふまえ、これまで培ってきた「学校MHL教育プログラム」をさらに発展させていくために大切な視点、学校保健の場で伝えるべき内容について、参加者の皆様といっしょに検討したいと考えています。(学校MHL教育＝学校メンタルヘルスリテラシー教育)

篠宗一(静岡県立大学)、上松太郎(横浜市立大学附属市民総合医療センター)、鎗田英樹(帝京平成大学)、深澤五郎(市原市精神障害者家族会こすす会)、鴨澤小織(日本大学)、志村和哉(スクールカウンセラー)、松浦佳代(国立看護大学校)、加藤裕(新宿フランス)、他

19

活用しよう精神科デイケア! ～リカバリーをめざしていくときの精神科デイケアのつかいかた～

シンボ
ジウム

この分科会では、従事者やユーザー、家族の立場から「リカバリーをめざしていく中での精神科デイケアの役割」について考えます。診療報酬改正のために、その意義を問われるようになっている精神科デイケア。デイケアは生き残り(?)をかけて、リワークや就労など特徴ある運営がされるようになってきています。そういった中で、デイケアの使命は何なのか、デイケアが設立された当初の目的に立ち戻り、考えたいと思います。

デイケアユーザーの皆さんとご家族、有川雅俊(汐入メンタルクリニック)、原敬造(原クリニック)、木村尚美(ひだクリニック)、大山早紀子(立教大学)

20

LGBTへの理解と支え合い

シンボジウム
ワークショップ

近年、LGBT(セクシャル・マイノリティ)に対する社会的な変容と性の多様性への理解が求められています。この分科会では、「LGBTの理解と支援について」をテーマに、当事者の方々や支援者が一堂に会し、参加者の皆様が日頃感じていることや思いを気軽に語り合える場としたいと思います。多くの方々の参加を期待しています。

鈴木麻斗(NPO法人Medical G Link)、長野香(NPO法人SHIP)、石川真紀・石田恵美(千葉県精神保健福祉センター)、四方田清(順天堂大学)、松田裕児(暮らしサポート成田)

21

退院支援の原点を考える part2 ～生かそう地域とピアの力～

シンボジウム
ワークショップ

退院を実現するためには、支援者やサービスだけでなく、ご本人や支援者の様々な思いや工夫も必要になります。地域や病院で退院支援をおこなっている方々より実践報告をいただき、参加者全員で退院支援を話し合う場としたいと思います。

中越章乃(神奈川県立保健福祉大学)、小佐野啓(NPO法人あおば福祉会)、尹聖根・寒川吟子(はらからの家福祉会)、高野悟史(駒木野病院)

22

1 参加登録 *電話でのお申込はお受けいたしませんので、あらかじめご了承ください

● ウェブサイトからの申し込み方法 *クレジットカードによるお支払が可能です

リカバリー全国フォーラム2017
http://v3.apollon.nta.co.jp/recovery2017/

事前参加・宿泊等の
申込み・お支払い

申込み完了



ウェブサイト申込の問合せ

日本旅行千葉支店「リカバリー全国フォーラム」係 〒260-0013 千葉市中央区中央 2-3-16
TEL: 043-227-2307 FAX: 043-225-2241 平日 10:00～17:00 (土・日・祝日休業)

http://v3.apollon.nta.co.jp/recovery2017/

● ファックス・郵送

裏表紙の
申込書に記入

お支払い

FAX・郵送

申込み完了

参加申込み期限:
平成29年7月31日(月)

振込先

*恐れ入りますがお振込手数料は
お客様にてご負担ください

郵便振替 00230-2-116537
リカバリーフォーラム

参加費・お弁当代・懇親会費・宿泊費・
賛助会費・ご寄付の代金をお振込みの上、
申込書をお送りください。

郵送先

〒272-0031
千葉県市川市平田 3-5-1 トノックスビル 2F
認定NPO法人コンボ「リカバリー全国フォーラム事務局」
(担当: 桶谷・秋山)

FAX 047-320-3871

2 参加費

種別	事前登録	当日参加	1日参加
一般	10,000(8,000)	11,000(9,000)	—
学生	6,000(4,000)	7,000(5,000)	—
家族	5,000(3,000)	6,000(3,000)	4,000
当事者	4,000(2,000)	5,000(2,000)	3,000

*カッコ内は賛助会員割引料金。
賛助会員のお申込みをされた場合は、
賛助会員の参加費が適用されます

*団体賛助会員の場合は、
会費納入人数分のみ
賛助会員料金が適用されます

*キャンセルされた場合でも、
参加費は返金いたしませんので、
ご注意ください

3 分科会

ご希望の分科会の番号を申込書にご記入ください。
先着順にて受付します。

*トークライブ・記念講演・シンポジウムについては、
全体会ですので 特にご記入の必要はありません。

4 お弁当

申込書のお弁当欄にご記入ください。

● 料金: 1,080 円 (税込)

- * お肉とお魚が選べます
- * 食堂で召し上がれます
- * 日替わり。お茶付き

5 懇親会

申込書の懇親会欄にご記入ください。 *当日受付は行いません

- 懇親会: お一人様 4,320 円 (税込)
- 日時・場所: 平成 29 年 8 月 25 日 (金) 午後 6 時～午後 8 時
- 会場: 帝京平成大学 3F 食堂

6 ご寄付

● リカバリー全国フォーラム2017の運営費にあてるため、ご寄付をお願いしております。

*申込書のご寄付の欄に金額をご記入し、参加費等といっしょにお振込みください。

*いただいたご寄付につきましては、寄付金控除の対象となります。

*3,000 円以上ご寄付いただいた方には特典をご用意しております。詳細はコンボホームページ (<https://www.comhbo.net>) をご覧ください。

*ご寄付いただいた方のお名前をプログラム集(事前申込締切日までにご寄付いただいた方)や報告書、ウェブサイト等に掲載させていただきます。
ご希望の方は申込用紙の該当欄に✓をお願いします。(ペンネーム可。✓がないものは掲載いたしません)

大会を成功させるために、ご協力をよろしくお願いいたします。

● Tシャツ募金も実施中です。<https://www.comhbo.net/>からお申込みください。

7 ご宿泊

宿泊施設	部屋タイプ	宿泊料金(朝食付)			アクセス
グランドシティ池袋	シングル	8/24 ▶ 11,340円	8/25 ▶ 11,340円	8/26 ▶ 11,880円	JR池袋駅(東口) 徒歩5分
	ツイン	8/24 ▶ 9,180円	8/25 ▶ 9,180円	8/26 ▶ 9,720円	
ザ・ビー池袋	シングル	8/24 ▶ 13,220円	8/25 ▶ 13,220円	8/26 ▶ 18,360円	JR池袋駅(東口) 徒歩3分
リッチモンドホテル東京目白	シングル	8/24 ▶ 11,890円	8/25 ▶ 14,490円	8/26 ▶ 17,490円	JR目白駅 徒歩2分

- ツインルームは2名様でのお申し込みとなります(同室者名も申込書にご記入ください)
- 禁煙・喫煙ルームをご希望の場合は、備考欄にその旨ご記入ください
- お申込受付順に手配いたします。ご要望に沿えない場合もございますのであらかじめご了承ください

8 当日の案内

リカバリー全国フォーラム事務局より「参加確認書」をお送りいたします。
そちらをご持参の上、大会当日の「事前受付」にお越しください。

※参加確認書の発送は8月1日以降になります。

9 変更・取消

- ウェブサイトからお申し込みいただいた方は、ウェブサイトから変更・取り消しをお願いします。
- FAXにてお申し込みいただいた方は、リカバリー全国フォーラム事務局まで、FAXにてご連絡ください。
- 電話での変更・取り消しはお受けできかねますのでご了承ください。
- 振り込みいただいた代金(宿泊費以外)の返金はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

宿泊取消料 ※返金はフォーラム終了後となります。振り込み手数料はお客様負担になります。

取消区分	21日前まで	20日～8日前	7日～前日	当日・無連絡
取消料	無 料	10%	20%	100%

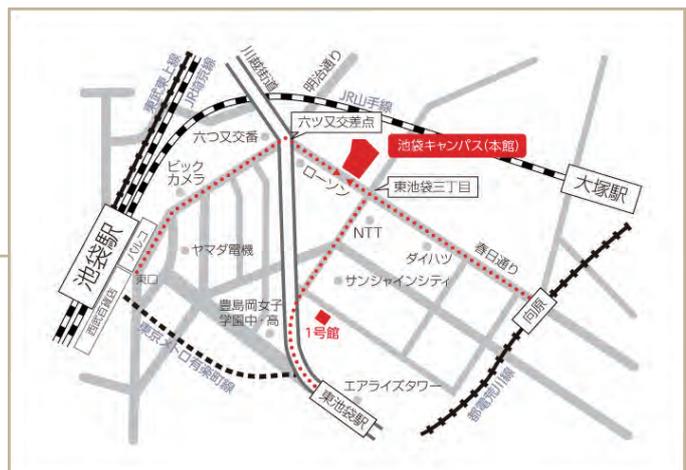
10 アクセス

帝京平成大学(池袋キャンパス・本館)

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2丁目51-4

- JR『池袋駅』東口から徒歩 12分
- 東京メトロ有楽町線『東池袋駅』から徒歩 10分
- 都電荒川線『向原駅』から徒歩 10分

※ お車でのご来場はご遠慮願います(駐車場はありません)。



〈国内募集型企画旅行ご旅行条件書(抜粋)〉 この宿泊案内(書面)は、旅行業法第12条の4に定めるところの取引条件の説明書面及び同法第12条の5に定めるところの契約書面の一部となります。詳しい旅行条件は、<https://v3.apollon.nta.co.jp/recovery2017/> でご確認のうえお申込みください。●個人情報の取扱について 当社は、旅行申込みの際に提出された申込書に記載された個人情報について、お客様との連絡のために利用させていただくほか、お客様がお申し込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及びそれらのサービスの受領のための手続に必要な範囲内で利用させていただきます。なお、当社グループ会社の名称及び各会社における個人情報取扱管理者の氏名については、当社のホームページ(<http://www.nta.co.jp>)をご参照ください。●募集型企画旅行約款について 書面の条件書に定めのない事項については当社旅行業約款(募集型企画旅行契約の部)によります。当社の旅行業約款をご希望の方は、当社にご請求下さい。当社旅行業約款は、当社ホームページ(<http://www.nta.co.jp>)からもご覧いただけます。●その他旅行条件及び旅行代金算出の基準日は、2017年6月8日を基準にしております。

お問合せ



COMHBO 認定特定非営利活動法人
地域精神保健福祉機構
Community Mental Health & Welfare Bonding Organization

「リカバリー全国フォーラム事務局」(担当: 桶谷・秋山)

TEL: 047-320-3870 FAX: 047-320-3871

営業時間 月～金 9:30～18:00(土・日・祝祭日休み)

〒272-0031 千葉県市川市平田 3-5-1 ノックスビル 2F

リハビリ全国フォーラム2017申込書

申込締切日：平成29年7月31日(月)

◆「ウェブサイト」からの参加申込み・宿泊予約が可能です ▶ <http://v3.apollon.nta.co.jp/recovery2017/>

■ 太枠内は全てご記入ください ■ 該当する□には✓印を付けてください

■ お一人様1枚ご記入ください(不足の場合はコピーしてください)

参加者名(フリガナ)		年代	e-mail	□お知らせメール便登録済		
		歳代				
参加証等送付先 送付先:□自宅 □勤務先(自宅以外は勤務先名までご記入ください) □初めて参加する						
送付先名:						
送付先住所: 〒						
TEL: FAX:						
このフォーラムを何で知りましたか? □こころの元気+ □開催案内 □メール □ホームページ □その他()						
所属 該当に○	01 福祉サービス事業所 02 グループホーム 03 企業 04 就業・生活支援センター 05 保健所 06 デイケア 07 精神保健福祉センター 08 行政(国・都道府県) 09 行政(市町村) 10 病院 11 診療所 12 ハローワーク 13 福祉事務所 14 家族会 15 当事者会 16 その他() 17 なし					
職種 該当に○	01 職員・世話人・相談員 02 管理者 03 医師 04 OT 05 心理士 06 精神保健福祉士 07 ピアスタッフ 08 保健師 09 看護師 10 職業相談員 11 事務職 12 当事者 13 ボランティア 14 家族 15 企業 16 研究者 17 ホームヘルパー 18 その他() 19 なし					
参加区分 該当に○	一般の方 1.一般(10,000円) 2.学生(6,000円) 3.家族(5,000円) 4.当事者(4,000円) 賛助会員の方(賛助会員割引) 5.一般(8,000円) 6.学生(4,000円) 7.家族(3,000円) 8.当事者(2,000円) 賛助会員番号: 1日だけ参加の方(賛助会員以外の家族・当事者限定) □8月25日に参加 □8月26日に参加 □家族(4,000円) □当事者(3,000円)					
分科会 番号記入	8/25(金) 第1希望		第2希望	第3希望	※希望分科会の番号を記入 必ずご記入ください。 申込状況により ご希望に添えない場合があります	
	8/26(土) 第1希望		第2希望	第3希望		
お弁当	該当項目に○ (各1,080円): 1.8月25日・肉 2.8月25日・魚 3.8月26日・肉 4.8月26日・魚					
懇親会	該当項目に○ 8月25日の懇親会に 1.参加する(4,320円) 2.参加しない					
宿泊 1名様料金 ご希望の方は該当項目に ✓印を付けてください。 (朝食付・税ヶ込)	8/24(木)	<input type="checkbox"/> グランドシティ池袋	<input type="checkbox"/> シングル 11,340円	<input type="checkbox"/> ツイン 9,180円	同室者名()	
		<input type="checkbox"/> ザ・ビー池袋	<input type="checkbox"/> シングル 13,220円			
		<input type="checkbox"/> リッチモンドホテル東京目白	<input type="checkbox"/> シングル 11,890円			
該当に✓印 <input type="checkbox"/> 禁煙 <input type="checkbox"/> 喫煙 ご希望に添えない場合が ございます。	8/25(金)	<input type="checkbox"/> グランドシティ池袋	<input type="checkbox"/> シングル 11,340円	<input type="checkbox"/> ツイン 9,180円	同室者名()	
		<input type="checkbox"/> ザ・ビー池袋	<input type="checkbox"/> シングル 13,220円			
		<input type="checkbox"/> リッチモンドホテル東京目白	<input type="checkbox"/> シングル 14,490円			
該当に✓印 性別 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	8/26(土)	<input type="checkbox"/> グランドシティ池袋	<input type="checkbox"/> シングル 11,880円	<input type="checkbox"/> ツイン 9,720円	同室者名()	
		<input type="checkbox"/> ザ・ビー池袋	<input type="checkbox"/> シングル 18,360円			
		<input type="checkbox"/> リッチモンドホテル東京目白	<input type="checkbox"/> シングル 17,490円			
賛助会員申込・ 寄付	該当項目に○をつけてください 1.賛助会員(年5,000円)に申し込む 2.寄付する: 円 ※ご寄付をいただいた場合の氏名の公表:□参加者名で □ペンネーム() □匿名で					
合計金額	参加費	お弁当代	懇親会費	宿泊費	賛助会費	ご寄付
	円 +	円 +	円 +	円 +	円 +	円

※申込書は、代金をお振込みの上、FAX:047-320-3871までお送りください。

合計金額 円

◆振込先 郵便振替 00230-2-116537 リハビリフォーラム * 振込手数料は本人負担をお願いします。青い振込用紙を使用してください

振込人名義:	振込日:平成29年 月 日	領収書宛名(必要方):
--------	---------------	-------------

※申込書の個人情報は、各種手配・受領のための手続き、コンボからの各種お知らせ等以外には利用いたしません